

第45回 エフエム伊東 番組審議委員会			議 事 録
会議場所	伊東ふれあいセンター 3階会議室	日 時	平成 27 年 8 月 26 日 16:00～17:30
出席者	番組審議委員： (出席) 鈴木孝彦 河野真一 鈴木順子 佐藤文彦 水口 進 森田文明 (欠席) 上山育子		
1. 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <p>■ 番組名: 生番組「伊東のおへそ」内コーナー枠 『防災関連放送 ～地元企業の防災への取り組みとアドバイス～』 (伊豆介護センター 篇)</p> <p>放送日時: 平成 27 年 8 月 25 日 (火) 午後 5:30 ～</p> <p>スタッフ: パーソナリティ 遠藤由紀 ゲスト 伊豆介護センター 施設介護事業部 荻野さん</p> <p>■ 番組概要: 「防災の日」を前に、地元企業の防災への取り組みと、その企業ならではの業務等を通じて、防災に有効と考えられるアドバイスをリスナーに向けて放送することで、リスナーの防災意識の高揚に寄与し、また生放送の収録音源を9月1日の防災の日まで、収録番組として随時放送することで、できるだけ多くのリスナーに防災を考えてもらうことを目的としています。</p> <p>■ 試聴後の意見:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元コミュニティエフエムが、このように地元の防災への取り組みとしてゲストを招いての番組作りは、今後も積極的に行ってほしい。 [A]: 近年、自助・共助・公助に加え、近所(助)を加えた4助の考え方を、行政が推奨しています。伊東市には、多くの要介護者や一人暮らしの方など、災害弱者が多くくらししており、介護事業を行う方の目を通じての防災への考えを参考にすることは、減災への手助けとなると考えています。 ● 内容的には、特に問題はないと思う。ただ、パーソナリティが、ゲストの話しに対して、腰を折るような相づちをしているように感じるので、もう少し考慮すべきだと思う。 [A]: ゲストが、話し終わる前に相づちを打っていたり、ゲストにかぶって話す部分が確かに気になります。パーソナリティは、ゲストの話を引き出す為の最小限のトークに抑えるべきで、過剰な相づちやゲストの話のペースを乱しかねないトークに注意するように指導していきます。 ● 今回は、防災訓練に因んでのゲストでしたが、地震に対する防災に限らず、近年の異常気象に伴う「竜巻」や「ゲリラ豪雨」など、各方面に詳しい人をゲストに招き、安全行動へのアドバイスとなる放送をしていってほしいと思う。 [A]: 災害は、地震ばかりでなく、異常気象や火山活動など、様々な要因が考えられます。たまたま、防災訓練というと「地震」を想定したものになってしまがちですが、その他の災害から身の安全を守る術を、知識のある方からアドバイスを得ることは有効なことであり、コミュニティエフエムとして、取り組むべき課題だと思います。 ● 各町内の民生委員は、一人暮らしや要介護者の把握のために、戸別訪問をしています。個人情報保護法により、連絡先や名簿作成において支障がでています。日頃からの近所づきあいをもっと強めていくことや、デイサービスに訪問する介護事業者が、近隣への挨拶があれば、もっと近隣住民も意識してくれるようになるのではないのでしょうか。 [A]: 自分の命は自分で守ることが、被災時行動の基本ですが、近所づきあいを見直すことが、いろんな意味での防災意識の第一歩なのかもしれません。弊社でもそのことを根底意識に据え、番組作りを考えたいと思います。 			
次回の番組審議委員会 平成 27 年 10 月 28 日 (第 4 水曜日) 16:00より 伊東ふれあいセンターで開催予定			